



検索・中野あきと

# みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

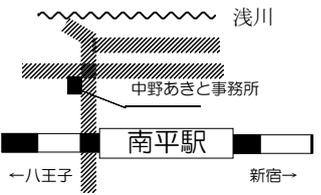
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2021年  
10月発行

第225号

法律・生活相談など  
お気軽にお立ち寄り下さい



## 市民の切実な願いから市政の大問題まで

### ～中野あきと市議～ 9月市議会・決算委員会で実現・改善を迫る

9月市議会の決算委員会で、中野あきと議員は、税金の使い方をめぐる新たな問題点を指摘・追及するとともに、市民のみなさんの切実な声・願いの提案を行い、実現を要求しました。

#### 交通空白地域の解消へ デマンド型公共交通の導入を！



現在、日野市の面積で26%の地域がミニバスなどの公共交通が利用できず「交通空白地域」となっています。日野市は、何らかの公共交通の導入が必要との立場ですが具体化されていません。

中野議員は、高齢化が進む中、交通空白地域の全体を早急に解消していくために、東久留米市の実例を紹介しながら、狭隘な道路にも導入できない市的に取りくみ可能なデマンド型交通の導入を提案しました。

担当課長は、東久留米市の例も把握しており、日野市でも検討していきたい旨の答弁を行いました。

#### 中学校に続き 小学校体育館にもエアコンの設置を

昨年度と今年度で、中学校

体育館へのエアコン設置が完了しました。



中野議員は、子どもたちや先生方から言われ、その効果も明らかにしている。国や都の補助金もあり、市の予算は一つの体育館に600万円前後で設置が可能。中学校に引き続き、来年度から2年間で17全ての小学校体育館へエアコン設置を行うよう提起しました。

しかし、市は、学校の改築や大規模改修の計画もあり予算のこともあるのでと消極的な姿勢に終始しています。

#### 不合理な校則の見直し 下着の色やツープロック 禁止など髪型まで規定

今、下着や髪型を規定している校則を見直しを全国一斉に起しています。



校則の問題は、子どもの人権に直接関わる問題です。同時に教育活動の一つとして位置づけられている問題であり、子ども、先生、保護者などの話し合いを通じて見直されていく必要があります。

中野議員は、今年4月に、東京都の教育委員会が都内の

都立中学校、都立高校向けに出した校則の見直しに関する通知の内容を明らかにしながら、こうした現場に歓迎されるような校則見直しへむけた指導助言を日野市教育委員会としても進めるよう提案しました。

市教育委員会は、「子どもたちの人権が保障されるような校則の見直しが進められるように(学校現場を)支援していきたい」と答弁しました。(裏面に続く)

### 気候危機を打開する

#### 日本共産党の2030戦略

(パンフ) 定価220円

【お申込み】中野あきと事務所

◀『2030戦略』を発表する志位和夫委員長 (9/2付 しんぶん赤旗日刊紙)

### 気候危機打開 日本共産党が「2030戦略」



### 短信

「残されている時間は10年足らず」。9月1日、『気候危機を打開する日本共産党の2030戦略』を発表した志位和夫委員長は、記者会見でこう強調しました。2030年までに、世界の二酸化炭素(CO2)排出を半分近くまで削減できるかどうかは人類の未来がかかっています▼国連IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書は、2050年までにCO2排出を実質ゼロにできないと、平均気温の上昇を産業革命前に比べて1.5度にまで抑え込むことはできないとしています▼たとえ、気温上昇を1.5度に抑えても、洪水のリスクにさらされる人口は今の2倍です。それを上回る気温上昇となれば、気候の復元は難しくなります▼この期に及んでも自公政権は、石炭・原発依存です。「目標」を達成するには、この政権と癒着する電力や鉄鋼など「原燃料利益共同体」と、石炭火力を更に九つもつくるとする「石炭火力利益共同体」とのたたかひも必要です▼今度の総選挙で日本共産党は「気候危機打開」を大きな争点として掲げたばかりです。コロナ禍、そして一刻も猶予できない気候危機。国民の命と人類の未来がかかった選挙です。力を一つにして、何としても政権交代を実現したいものです▼『戦略』は、IPCC報告に示された世界の科学的知見と、国内の環境団体、専門家の提言を踏まえ練り上げたものです。「一読頂ければ幸いです」。

(表面の続き)

## 市公共工事の入札の問題 是正すれば6億円の経費削減

2020年度、日野市における2000万円以上の公共工事は38件、総額は64億円です。中野議員は、全体工事の56%が1社入札で、その多くが予定価格(事前公表されている)にほぼ近い入札で落札されている実態を告発。競争が働かず談合が疑われる事態であり、ともに競争が行われ落札率が90%ラインまで下がるだけで、6億円の税金の節減にもなる、徹底的な調査・解明を求めました。

これに対し市長は、「ご指摘いただいた入札についてはしっかりとチェックをし、その背景にあるものについては解明していかねばならない」と答弁しました。



## 「財政非常事態」と言う一方で 9億円の新たな公共施設

昨年2月、市長より突然出された「財政非常事態宣言」。コロナ禍でも撤回されることなく、全ての小中学校に配置されていた学校安全管理員の廃止や、寝たきり高齢者を在宅で介護されていた方々への手当を廃止するなど、市民・子ども施策の切り下げが断行されました。

その一方で、市長選の公約である、9億円にも及ぶ新たな公共施設「子ども包括支援センター」の建設は、予定通りすすめるとして

います。中野議員は、虐待対応・子育て支援で緊急に必要なものは、専門性をもったマンパワーの拡充であり、センターの建設については立ち止まって見直すべきで、こんな税金の使い方は、決して市民の理解は得られないと追及しました。

## 中野あきとの 駆けある記 ①

## ～元副市長の疑惑～ 地裁の結審に思う

10月5日、補助金詐欺容疑で起訴された河内久男元副市長の、東京地裁での裁判が結審しました。検察官の求刑は懲役4年。11月18日に判決が下される予定です。

河内元副市長をめぐる詐欺容疑・不正疑惑はこれだけではありません。川辺堀之内区画整理をめぐる、工事業者の選定をめぐる談合疑惑や、業務委託契約関係にある企業社をめぐる数々の不正疑惑があり、そのほか、市立病院における不正報酬、旧たかはた保育園の民営化をめぐる補助金の不正支出をはじめ、いくつもの疑惑が浮上しています。

大坪冬彦市長は、数々の疑惑について、知らなかったかのような答弁で逃げをうとうとしています。それはあり得ない話です。何より、これだけの問題が起きている市長が知らなかったはずがないし、現に、資料にも大坪市長が把握していたことを伺わせる記録が残っています。

いま、疑惑解明に求められるのは、市長が、自ら知っている事実をすべて明らかにすること、そして議会も、その存在意義をかけて疑惑解へ総力をあげることです。



## 《日野の風物詩》 (その9)

### 東豊田のたんぼ 秋空の下家族総出で稲刈り



ぬけるような青空の下、東豊田のたんぼで家族総出の稲刈りが行われていました。みごとな黄金色の稲穂が広がるたんぼにコンバインの心地良いエンジン音が響き渡り、次々に稲が刈られていきました。

ここはたんぼ向こうにこんもりとした森が残り、水田に必要な水も流れ、昔の風景を残している貴重な風景ですが、開発も進み住宅が間近にまでせまってきました。数十年前までは日野市のいたるところで見ることができた秋の「収穫の風景」ですが、今ではここをふくめてわずかな地域でしか見ることができなくなりました。いつまでも残しておきたい日野市の風景です。(2021年9月19日撮影)

## 【続報】平山5丁目・浅川堤防桜並木保存

先月号では、桜並木の保存を考慮した堤防整備計画へと変更する方向となったことをお知らせしました。

その後、9月5日に開催された日野市と国土交通省(京浜河川事務所)が行った住民説明会で、「可能な限り桜を残します」「地域にとって大切な桜なので、地域の意見を踏まえながら堤防工事後2年後を目処に」今後のあり方について検討を進めたいとの見解が示されました。

伐採から保存へ、そして今後とも地域住民の意向を踏まえた対応、という大きな転換が図られたこととなります。

なお、説明会に先立って開催された市議会では、大坪冬彦市長は次のように答弁しています。

「当初の計画では老木ということ(伐採)という話もありましたが、市民の皆様いろいろな形でのご要望をいただいて、私も地元の自治体の長として、当然、市民のご要望、それを反映するような形での努力はしていかなければならないと思っておりますし、そういう立場で国交省には意見を申し上げていきたく思っております。」

(市長答弁)



## 【2021年11月の無料法律相談日】

- 4日(木) 午後6～8時 近澤美樹事務所
  - 11日(木) 午後1～3時 日野市役所6階共産党控室
- お申込みは清水とし子事務所 ☎042-582-1042  
◎法律相談以外のお困りごともお気軽に  
中野あきと事務所 ☎042-599-3350

しんぶん  
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円  
◎短期間のお試し購読。一部売りも。  
お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所